



ウッドコーンサウンドバー

TH-WD05



MP3/WMA
WAV/FLAC

Bluetooth®

Dolby Atmos

LDAC

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- ・もくじは11ページにあります。

お買い上げありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。



ユーザー登録
のおすすめ

お買い上げいただきました製品について下記アドレスのホームページより、「ユーザー登録」をお願いいたします。

ご登録いただきますと、製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。

- 今後のよりよい製品開発のために「ユーザーアンケート」にもご協力お願いいたします。

<https://www32.jvckenwood.com/jvc/system/cons/index.asp>



はじめに

安全上のご注意

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。

説明項目の中には、本製品に該当しない内容が含まれている場合があります。

▼絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

▼絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意

感電

手を挟まれ
ないよう注意

行為を禁止する記号



禁止

分解禁止

水場での
使用禁止

接触禁止

ぬれ手
禁止

水ぬれ
禁止

行為を指示する記号



一般的指示 電源プラグを
抜く

⚠ 警告



万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



分解や改造をしない、カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。



本機の上に火のついたものを置かない。

火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。



本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



表示された電源電圧以外で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重いものを乗せたり、ドアなどで挟まない

⚠ 警告



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。



電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。



本機の上に水などの液体が入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に液体が入った場合は、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。



置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

⚠ 注意



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。



移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。
完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。



移動するときには、アンテナを収納する。

けがの原因となることがあります。



ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



電池を小さなお子様の手の届くところに置かない。

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。



ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 注意



3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまつたまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。



本機の上に重いものを置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。また可燃性の液体やガス発生による爆発や漏れにつながる可能性があります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に投入しない
- 直射日光の下や火のそばなど、非常に高温な場所に放置しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく
- (乾電池で使える製品の場合)交流 100 ボルトで使うときは、電池を取り出しておく
- 過度の低気圧環境に放置しない
- 切ったり潰すなど、破壊しない
- 不適切に廃棄しない

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。



(本体から電源コードをはずせる製品の場合)

付属の電源コード以外は使用しない。

火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



(本体から電源コードをはずせる製品の場合)
付属の電源コードを本機以外には使用しない。
火災や感電の原因となることがあります。



(AC アダプターを使用する製品の場合)
AC アダプターの取り扱いに注意する。

火災や感電の原因になるため、

- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。
- 付属のACアダプターを本機以外の機器には使用しないでください。

本製品は「JIS C61000-3-2 適合品」です。



二重絶縁の CLASS II 装置のマークです。(保護接地なし。)



欧洲連合のリサイクルマークです。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具やエアコン等の近く
- 風通しの悪い狭い所
- 極端に寒い所
- 磁気を発生する所
- バランスの悪い不安定な所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 直射日光の当たる所
- 振動の激しい所
- 他のアンプ、チューナーのそば

ご注意

本機の使用環境温度は、5°C～35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることができます。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分いたしましょう。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。



データのお取り扱いについて

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。
大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での再生のときに、データの消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

録音について（録音できる製品のみ）

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、株式会社JVCケンウッドおよびJVCケンウッドグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 1. 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 2. 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

本書のボタン表記について

- ・本書では、特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンと同じマークがある場合には、本体のタッチキーもお使いいただけます。
- ・この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2通りあります。

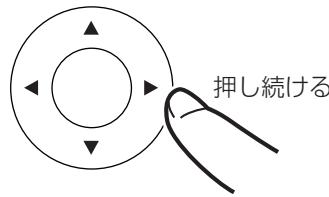
ボタンを短めに押す：

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調整して数回試してみてください。



ボタンを長めに押す：

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。

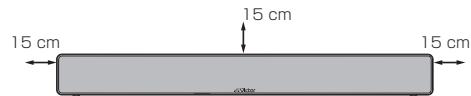


本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- ・本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- ・テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない。
- ・本や雑誌などをのせない。
- ・じゅうたんや布団の上に置かない。
- ・機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



ご注意

- ・本機の使用環境温度は、5°C～35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

もくじ

はじめに	2
安全上のご注意	2
使用上のご注意	8
本機を設置するときは	10
準備する	12
付属品を確認する	12
リモコンを準備する	12
各部の名称	13
リモコン	13
本体上面	14
本体前面	15
本体背面	16
接続する	17
テレビに接続する	17
サブウーハーを接続する	18
USB メモリーを接続する	19
電源コードを接続する	19
基本操作	20
電源を入れる／切る	20
スタンバイモードを切り換える	20
ソース(音源)を切り換える	20
テレビの音を聴く	21
表示部の明るさを変える	21
音量を調節する	21
一時的に音を消す	21
音質を設定する	22
お好みの音質に設定する	22
サウンドモードを使う	23
BLUETOOTH 機器を聴く	24
BLUETOOTH 機器を接続する	24
BLUETOOTH 機器の基本操作	25
接続を解除する	25
電波について	26
USB メモリーを聴く	27
USB メモリーの基本操作	27
外部機器を聴く	28
外部機器を接続する	28
外部機器を聴く	28
BLUETOOTH 送信機能を使う	29
ワイヤレスヘッドホンを接続する	29
ワイヤレスヘッドホンとの接続を解除する	30
その他の機能	31
オートパワーサーブ(節電機能)を設定する	31
その他の情報	32
使用できる BLUETOOTH 機器	32
USB メモリーのご注意	32
MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのご注意	32
ファイルの再生順について	33
商標	33
ソフトウェアについて	33
故障かな?と思ったら	34
主な仕様	37
保証とアフターサービス	39

準備する

付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

リモコン (1個)

RM-STHWDO05



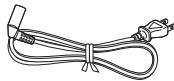
HDMIケーブル



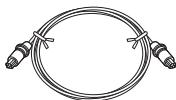
リモコン用単4形乾電池 (2本)



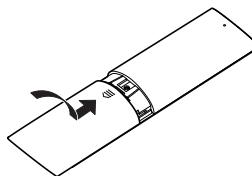
電源コード



光デジタルケーブル



3 カバーを閉める



ご注意

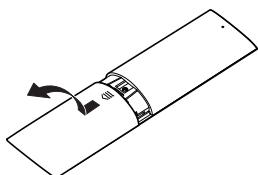
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

リモコンを準備する

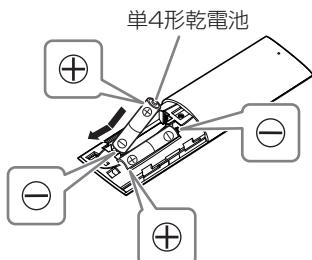
電池を入れる

電池の $+$ と $-$ の向きを正しく入れてください。

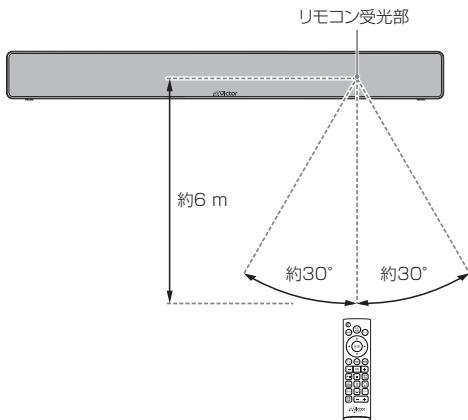
1 リモコン背面のカバーを開ける



2 $+$ と $-$ の向きを確認して電池(2本)を入れる



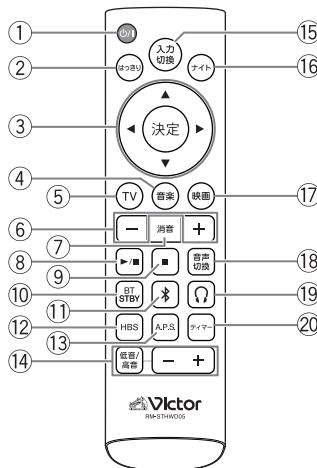
操作のしかた



- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

各部の名称

リモコン



① P/I(電源)ボタン

電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り替えます。

② はっきりボタン

クリアボイスのオン/オフを切り替えます。

③ 選択ボタン

・◀/▶ボタン

曲を選びます。

押し続けると曲を早送り、早戻しします。

・▲/▼ボタン

フォルダーを選びます。

・決定ボタン

選んだ設定項目を決定します。

BLUETOOTH 機器、USB メモリーの再生/一時停止をします。

④ 音楽ボタン

サウンドモードを音楽鑑賞に合わせた音質に切り替えます。

⑤ TV ボタン

サウンドモードをテレビ視聴に合わせた音質に切り替えます。

⑥ +/-(音量)ボタン

音量を調整します。+ボタンを押すと音量が上がり、-ボタンを押すと音量が下がります。

⑦ 消音ボタン

音量を一時的に消音します。

⑧ ▶/II ボタン

BLUETOOTH 機器、USB メモリーの再生/一時停止をします。

⑨ ■ボタン

USB の再生を停止します。

⑩ BT スタンバイボタン

本機の電源が切れているときに押すと、スタンバイモードを切り替えます。

⑪ * (ペアリング)ボタン

ペアリングモードに切り替えます。

⑫ HBS ボタン

重低音を強めます。

⑬ A.P.S.ボタン

オートパワーセーブ(節電機能)を設定します。

⑭ 低音/高音 (+/-) ボタン

低音または高音の音質を調整します。

⑮ 入力ソース切換ボタン

ソース(音源)を下記のように切り替えます。



⑯ ナイトボタン

ナイトモードのオン/オフを切り替えます。

⑰ 映画ボタン

サウンドモードを映画の視聴に合わせた音質に切り替えます。

⑱ 音声切換ボタン

音声多重放送視聴時に音声を切り替えます。

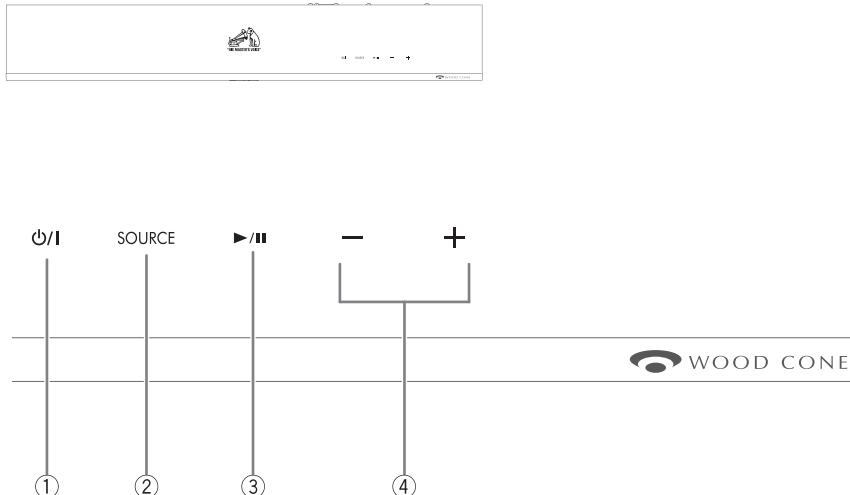
⑲ Ω (BLUETOOTH 送信) ボタン

BLUETOOTH 送信機能のオン/オフを切り替えます。

⑳ ディマー ボタン

表示部の明るさを切り替えます。

本体上面



上面パネル 拡大図

① P/I (電源)キー

電源のオン / オフ (スタンバイ) を切り替えます。

② 入力ソース切換キー

ソース (音源) を下記のように切り替えます。



③ ▶/II キー

BLUETOOTH 機器、USB メモリーの再生 / 一時停止をします。

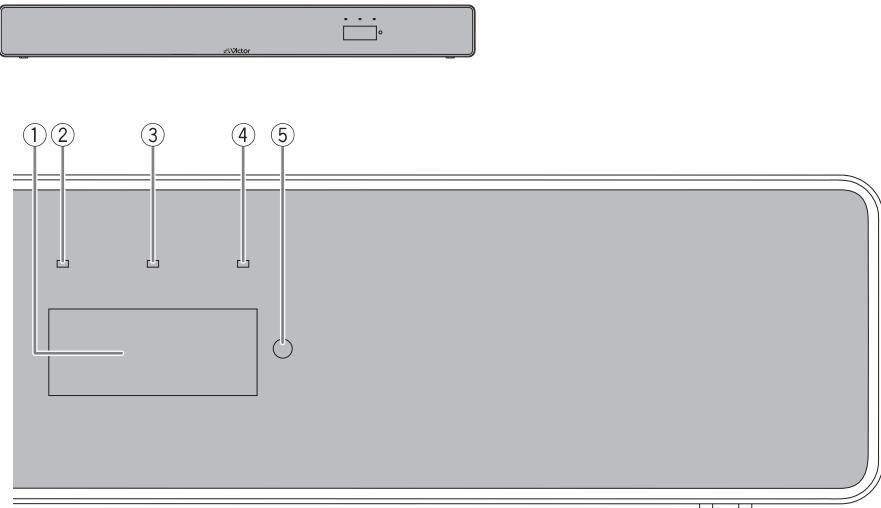
④ +/− (音量)キー

音量を調整します。+ キーをタッチすると音量が上がり、− キーをタッチすると音量が下がります。

お知らせ

- 本体の +/− キーで低音/高音を調整することはできません。

本体前面



前面パネル 拡大図

① ディスプレイ

本機の状態が表示されます。

② 電源インジケーター

本機の電源が切れている(ノーマルスタンバイ)ときは、赤色に点灯します。

本機の電源が入っているときは、白色に点灯します。

BLUETOOTH スタンバイのときは、青色に点灯します。

③ DOLBY インジケーター

DOLBY 信号が検出されると、白色に点灯します。

④ BLUETOOTH インジケーター

BLUETOOTH 機器と接続したときは、青色に点灯します。

BLUETOOTH 送信機能を使って、ワイヤレスヘッドホンと接続したときは、白色に点灯します。

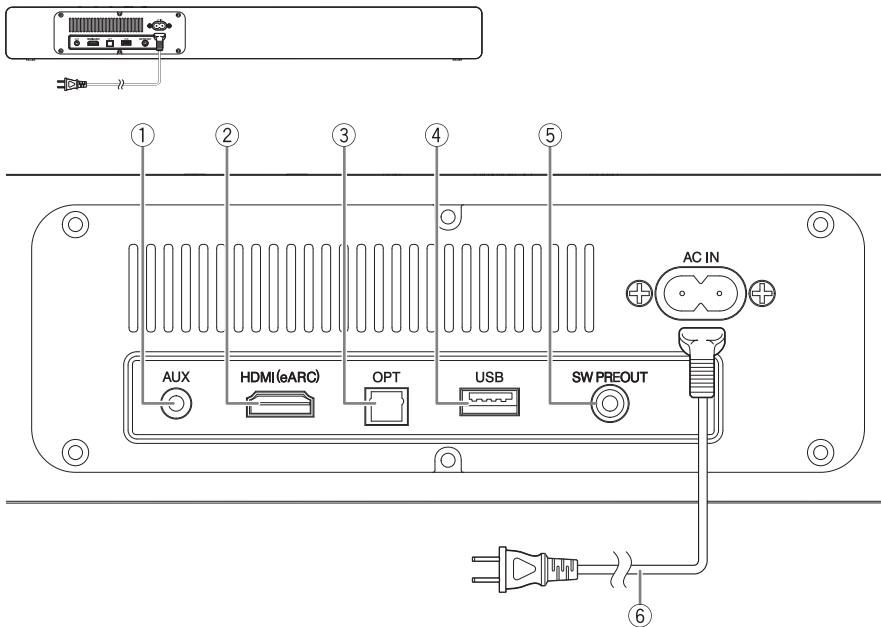
⑤ リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

お知らせ

- 電源が切れているとき(スタンバイ状態)でも、少量の電力を消費します。

本体背面



背面パネル 拡大図

① AUX 入力端子

eARC/ARC 機能非対応のテレビや、その他外部機器を、音声ケーブル(市販品)を使用して接続します。

② HDMI 出力端子(HDMI (eARC))

eARC/ARC 機能対応のテレビを、HDMI ケーブル(付属品)を使用して接続します。

お知らせ

- ARC 機能は「Audio Return Channel」の略称です。テレビの音声信号を HDMI ケーブルで本機に伝送し、テレビの音声を再生することができます。
- eARC 機能は「Enhanced Audio Return Channel」の略称です。従来の ARC 機能が拡張され、Dolby Atmos などのサラウンド再生が可能になります。

③ 光デジタル入力端子(OPTICAL 入力端子)

eARC/ARC 機能非対応のテレビや、その他外部機器を、光デジタルケーブル(付属品)を使用して接続します。

④ USB 端子

USB メモリーを接続します。

⑤ サブウーハーブリーアウト端子(SW PREOUT)

外部のアンプ内蔵サブウーハーを、サブウーハーケーブル(市販品)を使用して接続します。

⑥ 電源コード

電源コンセントに接続します。

接続する

ご注意

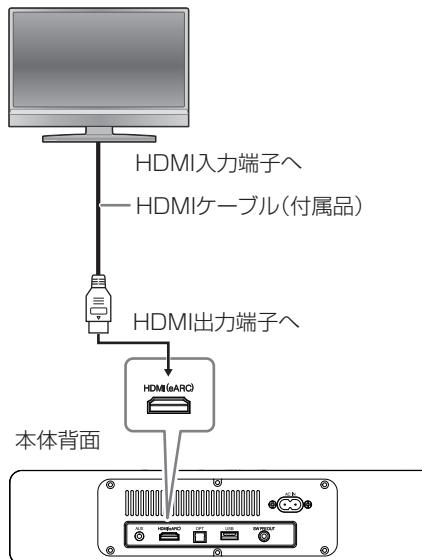
- すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

テレビに接続する

eARC/ARC 機能対応のテレビを接続する

HDMI ケーブル(付属品)を使用して、eARC/ARC 機能対応のテレビを本機に接続します。

テレビ



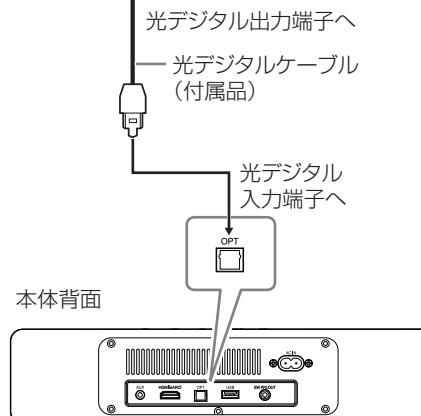
eARC/ARC 機能非対応の光デジタル端子付テレビを接続する

光デジタルケーブル(付属品)を使用して、テレビと本機を接続します。

テレビ



※テレビのデジタル音声出力をPCM信号が出力されるように設定してください。



HDMI-CEC について

HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMI規格の一部で複数の HDMI 機器を 1 つのリモコンで操作できるようにする便利な機能です。

- 本機を HDMI ケーブル(付属品)を使用して eARC/ARC 機能対応のテレビに接続すると、テレビのリモコンで本機の電源を入れる／切る、音量を調整する、一時的に音を消すことができます。

お知らせ

- テレビメーカーによって HDMI-CEC の名称が異なりますが、基本的な機能は同じです。

ご注意

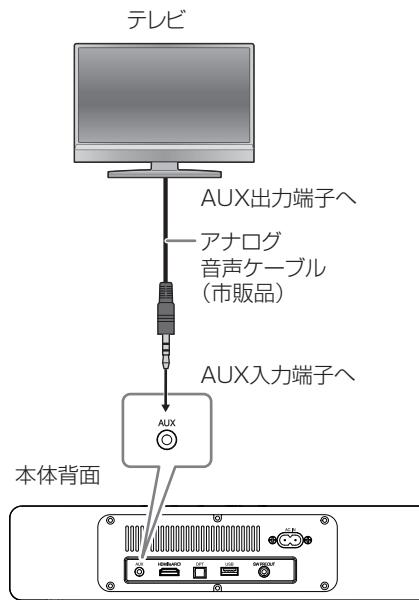
- HDMI-CEC は機器同士の互換性に左右されることがありますので、本機を HDMI 以外のソースで使用する場合は、テレビの電源を切るかテレビの CEC 機能を「オフ」に設定してください。

ご注意

- 光デジタルケーブルを接続するときは、光デジタルケーブルのプラグと OPTICAL 端子の形状を確認し、正しい向きでプラグを差し込んでください。間違った向きで無理に差し込むと、端子やプラグが破損するおそれがあります。

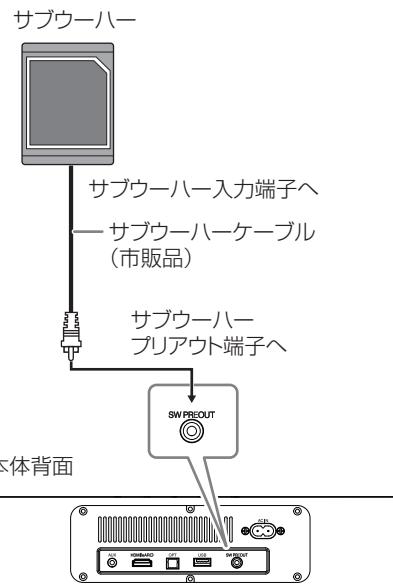
eARC/ARC 機能非対応のアナログ端子付きテレビを接続する

アナログ音声ケーブル(市販品)を使用して、テレビと本機を接続します。

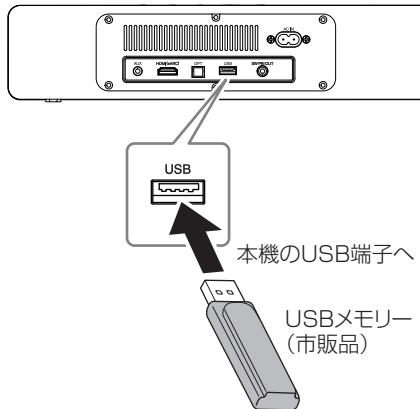


サブウーハーを接続する

重低音を効かせたいときは、サブウーハーケーブル(市販品)を使用して、外部のアンプ内蔵サブウーハーと本機を接続します。



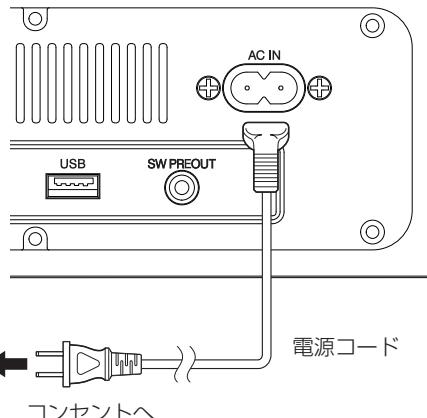
USB メモリーを接続する



電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

本体背面



ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルやファイルシステムが壊れて、USB メモリー内の音楽が再生できなくなる場合があります。
- iPod、iPhone、Android 端末、ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。
- BLUETOOTH 接続(p. 24)または本機の AUX 入力端子に接続してください。(p. 28)

お知らせ

- コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

基本操作

電源を入れる／切る

リモコン



本体



(タッチする)

スタンバイモードを切り換える

本機では、2種類のスタンバイモードを設定できます。

本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に



(くり返し押す)

- **BLUETOOTH スタンバイモード:**
STANDBY インジケーターが青色に点灯します。
本機とペアリング(登録)した BLUETOOTH 機器と接続できます。
ペアリング(登録)していない BLUETOOTH 機器とは接続できません。
- **ノーマルスタンバイモード:**
STANDBY インジケーターが赤色に点灯し、節電状態になります。
BLUETOOTH 機器と接続できません。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、ノーマルスタンバイモードです。
- BLUETOOTH スタンバイモード時に BLUETOOTH 機器と接続したい場合は、あらかじめペアリング(登録)をしておいてください。(p. 24)

ソース(音源)を切り換える

リモコン



本体

SOURCE

(くり返し押す)

(くり返しタッチする)

押すたびにソースが切り換わります。



テレビの音を聴く

二重音声放送を切り換える

二重音声信号を含む放送を視聴するときに、音声を切り換えます。

テレビのデジタル音声出力をビットストリーム/バススルー/AACなどに設定してください。



(くり返し押す)

押すたびに音声が切り換わります。



お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「MAIN」です。

ご注意

- テレビによっては動作しないことがあります。
その場合は、テレビのデジタル音声出力をPCMに設定し、テレビの音声切換キーで切り換えてください。

音声を聞き取りやすくする

ニュースやドラマを視聴するときに、人の声を聞きやすくなります。



押すたびに以下のように設定が切り換わります。



お知らせ

- お買い上げ時の設定は「CLEAR VOICE OFF」です。
- テレビにかぎらず、各ソースの人の声に効果があります。

表示部の明るさを変える



(くり返し押す)

押すたびにディスプレイとインジケーターの明るさが切り換わります。



お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「暗い」です。
- 設定は電源を切っても記憶されます。
- インジケーターは消灯しません。

音量を調節する

リモコン



(くり返し押す)

または

(押し続ける)

本体



(くり返しタッチする)

または

(タッチし続ける)

- ボタンを押すたびに音量が1段階ずつ増減します。
押し続けると、音量が2段階ずつ増減します。
- ボタンを押すと、現在の音量を数秒間表示します。

一時的に音を消す



- 消音中は「MUTING」を表示します。
- 解除するときは、もう一度ボタンを押してください。

音質を設定する

好みの音質に設定する

夜間の視聴に適した音質にする

小音量時に聞き取りやすくなります。



押すたびに以下のように設定が切り換わります。

NIGHT ON **NIGHT OFF**

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「NIGHT OFF」です。

重低音を強める



押すたびに以下のように設定が切り換わります。

HBS ON **HBS OFF**

お知らせ

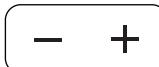
- お買い上げ時の設定は「HBS ON」です。

高音と低音を調整する

- 1 低音/高音を押して、「T」(高音)または「B」(低音)を選ぶ

低音/
高音

- 2 -5 から $+5$ の範囲で調整する



(くり返し押す)

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「T 0」/「B 0」です。
- 設定は電源を切っても記憶されます。

サウンドモードを使う

音の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「音楽」です。

テレビ視聴に合わせた音質にする

TV

ボタンを押すと「TV」を数秒間表示します。

音楽鑑賞に合わせた音質にする

音楽

ボタンを押すと「MUSC」を数秒間表示します。

映画視聴に合わせた音質にする

映画

ボタンを押すと「MOVI」を数秒間表示します。

ご注意

- 二重音声放送ではサウンドモードの効果はありません。

各サウンドモードの音声フォーマット別スピーカー出力

入力		出力	
ソース	音声フォーマット	TV/映画モード	音楽モード
HDMI (eARC)	PCM/Dolby Digital/AAC (2ch)	Virtual Surround 3.1ch	2.1ch
	Multi ch PCM (最大 7.1ch)/AAC 5.1ch	Virtual Surround 3.1ch	Down Mix 3.1ch
	Dolby Digital 5.1ch/ Dolby Digital Plus 7.1ch/ Dolby TrueHD 7.1ch/ Dolby Atmos	Atmos Height Virtualizer 3.1ch	Down Mix 3.1ch
USB	MP3/WMA/WAV/FLAC (2ch)	Virtual Surround 3.1ch	2.1ch
OPT	PCM/Dolby Digital/AAC (2ch)	Virtual Surround 3.1ch	2.1ch
	Dolby Digital/AAC (5.1ch)	Virtual Surround 3.1ch	Down Mix 3.1ch
AUX	Analog (2ch)	Virtual Surround 3.1ch	2.1ch
BT	SBC/AAC/LDAC (2ch)	Virtual Surround 3.1ch	2.1ch

ご注意

- DTS 音声フォーマットは非対応です。

BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどのBLUETOOTH機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH機器と本機をペアリング(登録)してください。

BLUETOOTH機器を接続する

本機とBLUETOOTH機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

1 本機をBLUETOOTH受信状態にする

電源を入れて、ソース(音源)を「BLUETOOTH」に切り換えてください。

リモコン

本体



(くり返し押す)

SOURCE

(くり返しタッチする)

- BLUETOOTHインジケーター(青色)が点滅します。

2 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。

詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android機器(スマートフォンなど)の操作例

- ①「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ②「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③「Bluetooth設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

iOS機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。

「設定」→「Bluetooth」の順にタップする

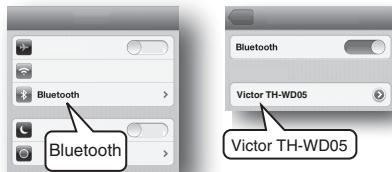
または、

「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする

上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

3 相手機器で「Victor TH-WD05」を選ぶ

iOS機器(iPhone/iPad/iPod touch)の画面例



ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

ディスプレイに「CONNECTED」と表示され、BLUETOOTHインジケーター(青色)が点滅から点灯にかわります。

- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。

リモコン

本体



(タッチする)

- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

- ソース(音源)をBLUETOOTHに切り換えると、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- 相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- 相手機器との接続を解除した後、本機の音量は接続前の状態に戻ります。音量設定に注意してください。

BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する

リモコン



本体



(タッチする)

一時停止する

リモコン



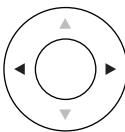
本体



(タッチする)

もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ



(くり返し押す)

接続を解除する

他の BLUETOOTH 機器を接続する



(押し続ける)

リモコンの[**BT**]ボタンを押し続けると、ディスプレイに「PAIRING」と表示されます。

または、相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにしてください。ディスプレイに「DISCONNECTED」と表示されます。

BLUETOOTH インジケーター(青色)が点灯から点滅に変わります。

お知らせ

以下の場合も、自動的に接続が解除されます。

- ・本機または相手機器の電源を切ったとき
- ・他のソース(音源)に切り換えたとき

ご注意

- ・電波状況によって音声が途切れたり、詰まって聞こえたりする場合があります。本機または接続機器の設置位置を変更してください。
- ・BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- ・iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- ・本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止、選曲)ができない場合があります。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、「DISCONNECTED」と表示されない場合があります。
- ・相手機器のイコライザ機能がオンになっていると、音声が歪む場合がありますので、オフにしてください。

電波について

- ・本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機の証明表示(㊂)を改変すること
- ・本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- ・製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
- FH : FH-SS変調方式を表します。
- 1 : 電波干渉距離は10mです。
- : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- ・使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスマッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- ・下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れことがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- ・本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

USB メモリーを聴く

USB メモリーの基本操作

再生する

先頭のファイルを再生します。

リモコン



本体



(タッチする)

一時停止する

リモコン



本体



(タッチする)

もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

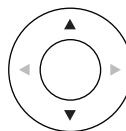
停止する



お知らせ

- 停止後再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します(リピューム機能)。停止中にもう一度 [■] ボタンを押すと、リピューム機能は解除されます。

フォルダを選ぶ

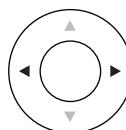


(くり返し押す)

[▲] ボタンを押すと次のフォルダの先頭へ移動します。

[▼] ボタンを押すと前のフォルダの先頭へ移動します。

曲を選ぶ



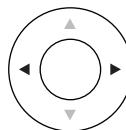
(くり返し押す)

[◀] ボタンを押すと前のファイルへ移動します。

[▶] ボタンを押すと次のファイルへ移動します。

早戻し／早送りする

再生中に



(押し続ける)

通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

お知らせ

- 早戻し/早送りの動作中は音が出ません。

外部機器を聴く

外部機器を接続する

お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

ご注意

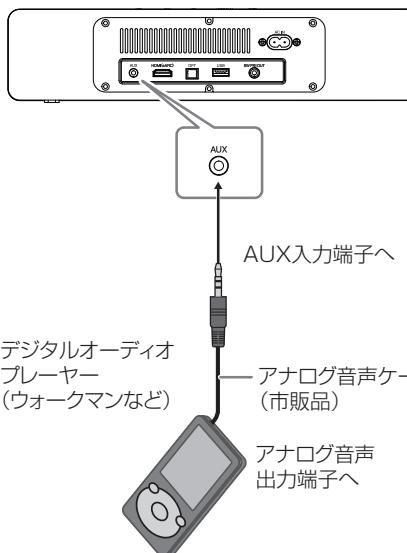
- 本機は PCM/Dolby Digital/AAC 信号に対応しています。本機のデジタル入力端子に接続するときは、外部機器のデジタル音声出力の設定を確認し、PCM/Dolby Digital/AAC 信号が出力されるように設定してください。

1 本機の音量を最小にする

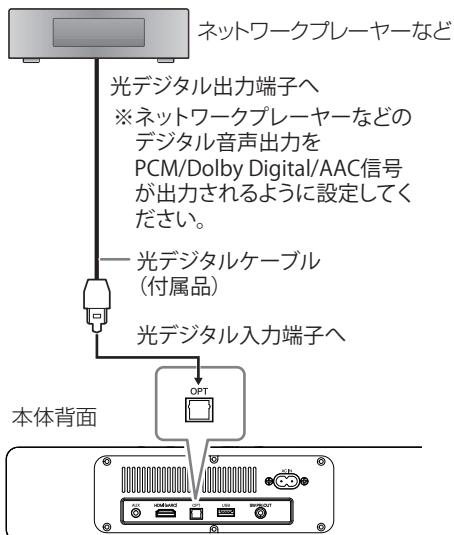
2 本機に外部機器を接続する

- デジタルオーディオプレーヤーなどアナログ音声出力端子がある外部機器の場合は、本機の AUX 入力端子に、オーディオコード（市販品）を使用して接続します。

本体背面



- ネットワークプレーヤーなど光デジタル出力端子がある外部機器の場合は、本機の光デジタル入力端子に、光デジタルケーブル（付属品）を使用して接続します。



外部機器を聴く

1 ソース(音源)を切り換える

AUX 入力端子に外部機器を接続している場合は、「AUX」に切り替えます。

OPT 入力端子に外部機器を接続している場合は、「OPT」に切り替えます。

リモコン

本体



SOURCE

(くり返し押す)

(くり返しタッチする)

2 外部機器を再生する

3 音量を調節する

お知らせ

- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM/Dolby Digital/AAC (32 kHz ~ 192 kHz) です。
- 音声信号は本機内部の DSP などを経由しているため、多少遅れてスピーカーに出力されます。テレビのスピーカーなどと同時に音声を出力すると、エコーが掛かったように聞こえますので、テレビと接続する場合は、テレビの音声を絞ってお使いください。

BLUETOOTH 送信機能を使う

以下のソース(音源)を BLUETOOTH 接続でお手持ちのワイヤレスヘッドホンに送信して、聴くことができます。

- ・テレビ
- ・USB メモリー
- ・外部機器

ワイヤレスヘッドホンを接続する

初めて接続する

- 1 BLUETOOTH 送信したいソース(音源)を選ぶ
 - ・「HDMI」、「USB」、「OPT」、「AUX」から選びます。
- 2 ワイヤレスヘッドホンの電源を入れ、ペアリングができる状態にする
 - ・ワイヤレスヘッドホンによって、操作方法は異なります。詳しくは、お使いのワイヤレスヘッドホンの取扱説明書をご覧ください。
- 3 BLUETOOTH 送信を開始し、ワイヤレスヘッドホンを検索する

リモコンの[Ω]ボタンを押してください。



- ・ディスプレイに「BT TX」と表示され、BLUETOOTH インジケーター(白色)が点滅します。
- ・検索が終了すると、接続できるワイヤレスヘッドホンのデバイス名が表示されます。

お知らせ

- ・検索できるワイヤレスヘッドホンは 1 機種のみです。

ご注意

- ・初めて接続する場合は、検索に時間が掛かります。

4 ワイヤレスヘッドホンを接続する



検索されたワイヤレスヘッドホンのデバイス名が正しい場合

- ・リモコンの[決定]ボタンを押してください。
- ・ペアリングが完了し、BLUETOOTH インジケーター(白色)が点灯します。
- ・ワイヤレスヘッドホンから音声が出力されます。
- ・停止中の時は BLUETOOTH 送信したいソース(音源)を再生します。

検索されたワイヤレスヘッドホンの機種名が正しくない場合

- ・リモコンの[*]ボタンを押し続けて、再度検索し直してください。

お知らせ

- ・BLUETOOTH 送信中に、BLUETOOTH 以外のソース(音源)に切り換えると、接続は解除されません。BLUETOOTH に切り換えると、接続が解除されます。
- ・接続できないときや、ワイヤレスヘッドホンから音が出ないときは、ワイヤレスヘッドホンの電源を切って、最初からやり直してください。
- ・ワイヤレスヘッドホンによっては、本機と接続できない場合があります。
- ・ワイヤレスヘッドホンで本機を操作する機能には対応しておりません。
- ・BLUETOOTH 送信機能の対応コーデックは SBC です。
- ・DSP 処理をしているため、音声信号は多少遅れてワイヤレスヘッドホンに出力されます。

以前ペアリングしたワイヤレスヘッドホンと再度接続する

- 1 BLUETOOTH 送信したいソース(音源)を選ぶ
・「HDMI」、「USB」、「OPT」、「AUX」から選びます。
- 2 ワイヤレスヘッドホンの電源を入れ、ペアリングができる状態にする
・ワイヤレスヘッドホンによって、操作方法は異なります。詳しくは、お使いのワイヤレスヘッドホンの取扱説明書をご覧ください。
- 3 BLUETOOTH 送信を開始し、ワイヤレスヘッドホンを検索する

リモコンの[Ω]ボタンを押してください。



- ・ディスプレイに「BT TX」と表示され、BLUETOOTH インジケーター(白色)が点滅します。
- ・検索が終了すると、接続できるワイヤレスヘッドホンのデバイス名が表示され、自動的に接続されます。
- ・ペアリングが完了し、BLUETOOTH インジケーター(白色)が点灯します。
- ・ワイヤレスヘッドホンから音声が outputされます。
- ・停止中の時は BLUETOOTH 送信したいソース(音源)を再生します。

ワイヤレスヘッドホンとの接続を解除する

リモコンの[Ω]ボタンを押してください。



ディスプレイに「BT TX OFF」と表示され、接続が解除されます。

BLUETOOTH インジケーター(白色)が消灯します。

お知らせ

以下の場合も、自動的に接続が解除されます。

- ・本機またはワイヤレスヘッドホンの電源を切ったとき
- ・ソース(音源)を「BLUETOOTH」に切り換えたとき
- ・ワイヤレスヘッドホンの BLUETOOTH 接続をオフにしたとき

お知らせ

- ・検索できるワイヤレスヘッドホンは 1 機種のみです。
- ・前回接続したワイヤレスヘッドホンが優先で検索されます。
- ・BLUETOOTH 送信中に、BLUETOOTH 以外のソース(音源)に切り換えると、接続は解除されません。BLUETOOTH に切り換えると、接続が解除されます。
- ・接続できないときや、ワイヤレスヘッドホンから音が出ないときは、ワイヤレスヘッドホンの電源を切って、最初からやり直してください。
- ・ワイヤレスヘッドホンによっては、本機と接続できない場合があります。

その他の機能

オートパワーセーブ(節電機能)を設定する

オートパワーセーブとは、以下のいずれかの状態で約15分間何も操作しない場合に、本機の電源を自動的に切る機能です。

ソース(音源)	本機の状態
HDMI	<ul style="list-style-type: none">・テレビ(HDMI機器)を接続していないとき・音声が入力されていないとき・音量が「00」のとき・消音しているとき
BLUETOOTH	<ul style="list-style-type: none">・BLUETOOTH機器を接続していないとき・音声が入力されていないとき・音量が「00」のとき・消音しているとき
USB	<ul style="list-style-type: none">・USBメモリーを接続していないとき・停止状態のとき・音量が「00」のとき・消音しているとき
OPT	<ul style="list-style-type: none">・音声が入力されていないとき・音量が「00」のとき・消音しているとき
AUX	<ul style="list-style-type: none">・音声が入力されていないとき・音量が「00」のとき・消音しているとき

オートパワーセーブ(節電機能)をオフに設定する

オートパワーセーブをオフにするときは、以下の操作をしてください。

本機の電源が入っている(p. 20)ときに

A.P.S.

オートパワーセーブ(節電機能)をオンに設定する

オートパワーセーブを再度オンにするときは、以下の操作をしてください。

本機の電源が入っている(p. 20)ときに

A.P.S.

お知らせ

- ・お買い上げ時は、オートパワーセーブがオンに設定されています。

その他の情報

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH Ver.5.3 に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。
- すべての BLUETOOTH 機器再生を保証するものではありません。

USB メモリーのご注意

- 再生できる USB メモリーのファイルは、MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルです。
- USB 端子には、USB メモリー以外の機器を接続しないでください。
- USB メモリーの容量は 4GB 以上、32GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- USB メモリーによっては、誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- USB メモリーは電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中やアクセス中に取りはずすと、USB メモリー内のファイルやファイルシステムが壊れる場合があります。
- 本機では、ファイルやフォルダーを削除することはできません。
- マスストレージまたは FAT32 以外の USB メモリーを使用した場合は、「CANT READ」と表示されます。
- USB メモリーに保存されているファイルがサポート外の場合は、「NO FILE」と表示されます。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのご注意

- 再生できる MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルは <.mp3>、<.wma>、<.wav> または <.flac> の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオまたは MP3/WMA/WAV / FLAC ファイルを再生できます。

サンプリング周波数

オーディオファイル	サンプリング周波数
MP3	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
WMA	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
WAV	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz
FLAC	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz

転送レート

オーディオファイル	転送レート
MP3	32 kbps ~ 320 kbps
WMA	64 kbps ~ 160 kbps

量子化ビット数

オーディオファイル	量子化ビット数
WAV	16 bit, 24 bit
FLAC	16 bit, 24 bit

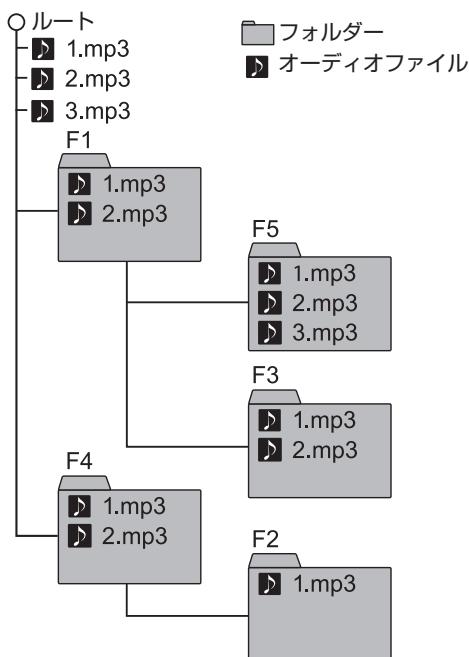
- 本機は USB メモリー 1 つあたり最大 500 のフォルダーおよび 999 のファイルを認識します。
- DRM(著作権保護) ファイルはスキップします。
- VBR ファイルの早送り、早戻しには対応しておりません。また、正しく再生できない場合があります。
- 1 曲が 4GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。

ファイルの再生順について

オーディオファイルは ASCII(アスキー)コードの順番で再生されます。

フォルダーはフォルダー構成にかかわらず ASCII(アスキー)コードの順番で再生されます。

フォルダー構成例



ファイルの再生順

- | | | |
|------|---|----------|
| 1曲目 | : | F1_1.mp3 |
| 2曲目 | : | F1_2.mp3 |
| 3曲目 | : | F2_1.mp3 |
| 4曲目 | : | F3_1.mp3 |
| 5曲目 | : | F3_2.mp3 |
| 6曲目 | : | F4_1.mp3 |
| 7曲目 | : | F4_2.mp3 |
| 8曲目 | : | F5_1.mp3 |
| 9曲目 | : | F5_2.mp3 |
| 10曲目 | : | F5_3.mp3 |
| 11曲目 | : | 1.mp3 |
| 12曲目 | : | 2.mp3 |
| 13曲目 | : | 3.mp3 |

お知らせ

- もし曲順が変わってしまう場合は、パソコンで USB メモリー内の音楽をデスクトップにコピーし、フォルダーナーの先頭に「01…」、「02…」、曲名の先頭に「01…mp3」、「02…mp3」などの数字を付けてから、FAT32 形式でフォーマットした USB メモリーに書き込んでください。

商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.
- Microsoft, Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社 JVC ケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- Android は Google LLC の商標です。
- "ウォークマン"は、ソニー株式会社の登録商標です。
- Dolby, Dolby Atmos、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。 Dolby Laboratories のライセンスに基づいて製造されています。
- 未発表の機密作品です。
- Copyright © 2012-2024 Dolby Laboratories. 無断複写・転載を禁じます。
- 採用されている商標 HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI トレードドレス、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- LDAC および LDAC ロゴはソニー株式会社の商標です。

ソフトウェアについて

本製品には、第三者のソフトウェアが含まれています。 詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

お困りの場合は、当社ホームページ
<https://www.jvc.com/jp/audio/support/>

のサポート情報から最新の Q&A
情報をご覧いただくことで解決で
きます。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあります。

**カスタマーサポートセンターにご相談になる前に、
ホームページや右記の項目をチェックしてください。**

**右記の処置をしても正しく動作しないときは本機を
リセットしてください。**

本機を操作できないときや、表示部が誤表示されるときなどは、次の手順で本機をリセットしてください。



- 1 本機の電源が入っている(p. 20)ときに、リモコンの[はっきり]ボタンを 5 秒以上押し続ける
- 2 リモコンの[ナイト]ボタンを 5 秒以上押し続ける
・「REST」と表示後スタンバイになり、各種設定がお買い上げ時の状態となります。

共通

電源が入らない。

- 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続
されているか確認してください。
- 電源コードをコンセントから抜いて、1 分程度経って
から差し込みなおしてください。

突然電源が切れてしまう。

- オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(p. 31)

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮
られていませんか。
- リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電
池と交換してください。

音声が聴こえない。

- 音量が最小になっていませんか。
- 消音を解除してください。
- 接続している端子とソース(音源)が合っている
か確認してください。

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「A2DP」に対応しているか確認してください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「AVRCP」に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- BLUETOOTH の距離限界を超えてるか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。
- 無線 LAN ルーターなどの通信機器から 1m 以上離してお使いください。
- 電子レンジの動作中は、音が途切れる場合があります。
- スマートフォン、タブレットなどの端末の使用状況により、音が途切れやすくなることがあります。この場合は、端末のマルチタスクアプリを終了し、端末を再起動してください。また、改善しない場合は、他の端末もお試しください。

USB メモリー

再生できない。

- USB メモリーを正しく接続してください。
- ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。BLUETOOTH 接続(p. 24)または本機の AUX 入力端子に接続してください。(p. 28)
- パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、10 曲程度転送して再生できるかお試しください。改善しない場合は、USB メモリーを交換してください。

MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルのフォルダーやトラックが意図したように再生できない。

- 本機は USB メモリーに音楽ファイルが記録されている順番に再生します。USB メモリー内のファイル操作(削除、追加、移動、名前の変更など)を繰り返すことにより、順番が入れ替わることがあります。その場合は、パソコンで USB メモリーをフォーマットした後に再度転送してください。

USB メモリーからの音声が途切れる。

- 正しく記録された MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルを再生してください。
- 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直してください。
- パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式でフォーマットした後、MP3 / WMA / WAV / FLAC ファイルを転送して再生できるかお試しください。

BLUETOOTH 送信機能

ワイヤレスヘッドホンに接続できない。

- ワイヤレスヘッドホン側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- お使いのワイヤレスヘッドホンの説明書などで、「A2DP」に対応しているか確認してください。

本機からワイヤレスヘッドホンを操作できない。

- BLUETOOTH 送信機能を使って、ワイヤレスヘッドホンを操作することはできません。

ワイヤレスヘッドホンから本機を操作できない。

- ワイヤレスヘッドホンから本機を操作(再生/一時停止、曲を選ぶ、早戻し/早送りなど)することはできません。本機付属のリモコンで操作してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- BLUETOOTH の距離限界を超えてるか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。
- 無線 LAN ルーターなどの通信機器から 1m 以上離してお使いください。
- 電子レンジの動作中は、音が途切れる場合があります。
- スマートフォン、タブレットなどの端末の使用状況により、音が途切れやすくなることがあります。この場合は、端末のマルチタスクアプリを終了し、端末を再起動してください。また、改善しない場合は、他の端末もお試しください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力: フロント L/R:20W+20W (4Ω)
センター C:20W (8Ω)
サブウーハー SW:40W (4Ω)
JEITA THD 10%*

入出力端子

HDMI: 対応音声フォーマット: Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby TrueHD / Dolby Atmos / PCM / AAC

USB: 出力: DC 5 V ■■■ 500mA
仕様: USB2.0 ハイスピード
対応機器: USB マスストレージクラスデバイス
ファイルシステム: FAT32
対応ファイル形式: MP3 / WMA / FLAC / WAV

AUX 入力: ステレオミニ(Ø 3.5 mm) x 1

デジタル入力(光): OPTICAL 入力端子(角型光端子) x 1

サブウーハー出力: 対応音声フォーマット: PCM / Dolby Digital / AAC
RCA 出力端子 x 1 系統

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver.5.4

送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

対応コーデック: SBC / AAC / LDAC

対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式

BLUETOOTH 送信機能

規格: BLUETOOTH Ver.5.4

送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

対応コーデック: SBC

対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式

共通部

電源:	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力:	15 W(定格消費電力) 1 W 以下 (BLUETOOTH スタンバイモード時) 0.5 W 以下(ノーマルスタンバイモード時)
最大外形寸法:	幅 697 mm × 高さ 77.5 mm × 奥行き 110 mm
質量:	3.5 kg

スピーカー部

スピーカーユニット:	フロント L/R:60mm x 2(ウッドコーン) センター C:60mm x 1 サブウーハー SW:49mm x 157mm x 1
定格インピーダンス:	フロント L/R,サブウーハー SW:4Ω センター C:8Ω

*1は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことを約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - (6) 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - (7) 一般家庭用以外(例えば業務用など)への長時間使用および車輌、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (8) 消耗品(電池など)の消耗。
 - (9) (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (10) (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- (11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについては、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.jvc.com/jp/support/hrepair/>
- 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、
JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。



固定電話からはフリーダイヤル:0120-2727-87

携帯電話からのご利用はナビダイヤル:0570-010-114

一部IP電話からのご利用は:045-450-8950

受付時間:月曜~金曜 9:30~18:00/土曜 9:30~12:00, 13:00~17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

保証書

持込修理

品名 型名	オーディオ商品 TH-WD05	製造番号			
お客様	お名前 ふりがな				
	ご住所 電話	様			
<p>お買い上げ年月日</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>年</td><td>月</td><td>日</td></tr> </table> <p>お買い上げ日から 保証期間</p>			年	月	日
年	月	日			
お買い上げ店		本体 1年間			
住所・店名・電話					

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
 2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品本体に記載されている11桁の製造番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
 3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
 4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <https://www.victor.jp/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12